

平成31年度の活動予定

新潟県部会	P 1
富山県部会	P 3
石川県部会	P 9

平成31年 1月29日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

平成31年度の活動予定

【新潟県部会】

平成31年 1月29日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会
(新潟県部会)

平成31年度の活動予定(新潟県部会)

1. 建設系の大学、高専、高校での講座の開設

社会資本整備の歴史と役割、老朽化対策、土砂災害、建設界の紹介、等。

- ・長岡技術科学大学での連続講座
- ・長岡工業高等専門学校での連続講座
- ・各高等学校への出前講座

2. 建設系学生・生徒を対象としたインターシップと体験実習会の実施

仕事体験を通じて建設業の魅力や職業感を知ってもらうため、県内企業や官公庁で積極的に受け入れるとともに、高校生を対象に現場見学会や体験実習を実施。

- ・インターシップ受け入れ情報を担い手HPに掲載
- ・地域と産業界が連携したデュアルシステムによる受け入れ（高校生対象）
- ・測量実習、地質調査実習、橋梁点検実習（高校生対象）

3. 建設系学生・生徒を対象とした現場見学会の実施

建設現場や施設の見学を通して、建設業の社会的役割等への理解と関心を促す。

- ・県内の全ての建設系大学、高専、高校を対象に実施

4. 保護者・教員を含む小中学校や市民を対象に現場見学会、出前講座を実施

施設見学会や出前講座を通して、地域の安全な暮らしや経済活動を支えている公共インフラへの理解を深めてもらい、将来の担い手確保に向けた裾野を拡大。

5. 全国産業教育フェア新潟大会へのブース出展

多くの生徒が各種産業に触れる機会を創出するフェアに建設業PRブースを出展し、建設界への理解を促進。(H30プレ大会出展、約800名の中学生参加)

6. 合同企業セミナーの開催

より多くの学生・生徒に県内企業から直接話し聞く機会を設けることで、キャリア形成を支援。(H30初開催、約400名の建設系学生・生徒参加)

平成31年度の活動予定

【富山県部会】

平成31年 1月29日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会
(富山県部会)

平成31年度の活動予定 (富山県部会)

◆ 大学カリキュラムに連続講座を開設 (北陸地方整備局)

	富山県立大学	
対象	1年生	2 + 4年生
学期	前期	前期
概要 (予定)	◆ 座学+現場見学	◆ 座学+現場見学



富山県立大学1年生による連続講座の様子

◆ 建設系高校における講座の開設等 (北陸地方整備局・富山県・富山県建設業協会 等)

	富山工業高校			桜井高校		
対象	3年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生
学期	2学期	2学期	2学期	1学期	2学期	2~3学期
概要 (予定)	◆ 現場見学 (建設業協会)	◆ 現場見学 (埋立浚渫協会) ◆ 講座 (建設業の魅力と役割)	◆ 現場見学 (建設業協会) ◆ 講座 (インフラの歴史と役割)	◆ 現場見学 (建設業協会)	◆ 現場見学 (宇奈月ダム)	◆ 現場見学 (海岸or河川工事) ◆ 講座 (建設業の魅力と役割等)

	高岡工芸高校				南砺福野高校		
対象	3年生	2年生	2年生	1年生	1・2年生	1・3年生	1年生
学期	1学期	1学期	2学期	2学期	1学期	2学期	2学期
概要 (予定)	◆ 現場見学	◆ 現場見学 (建設業協会)	◆ 現場見学 (建設業協会) ◆ 講座 (建設業の魅力と役割)	◆ 講座 (建設業の魅力と役割)	◆ 現場見学 (利賀ダム)	◆ 現場見学 (建設業協会)	◆ 講座 (建設業の魅力と役割)

※その他、関係機関個別に現場見学等を実施予定。

建設系学生・生徒への活動【インターンシップの充実】

平成31年度の活動予定
(富山県部会)

◆ 建設系高校生へのインターンシップ

- 対象学生：建設系学科の高校生
- 実習時期：概ね7月～10月
- 実習場所：県内の企業、官公庁
- 実習内容：勤労観・職業観の育成、就業体験
- 実施機関：建設コンサルタンツ協会、測量設計業協会、北陸地方整備局
- ※ 従来の業団体との連携に加え、協議会として連携を図り、インターンシップを充実

◆ 高校生を対象としたSABO体験楽校（北陸地方整備局）

県内の高校生を対象に、砂防現場の実体験や工事施工に携わる人々との交流を通し、学校の授業では得難い砂防の工事を実際に体験。

- 対象学生：富山県内の高校生10名
- 実習時期：夏休み中2泊3日
- 実習場所：北陸地方整備局 立山砂防事務所管内

◆ キャンプ砂防（北陸地方整備局）

- 目的：中山間地域の現状を実際に体験できる場を全国の学生に提供し、地域の抱える問題点、活性化の支援のあり方、防災対策のあり方を学び、中山間地域における砂防の意義・役割を考える。
- 対象学生：砂防を専攻する大学生、又は砂防に関心を持つ大学院・大学・高専の学生
- 実習時期：概ね7月～9月の1週間程度
- 実習場所：北陸地方整備局管内砂防事業所管事務所

◆ 県内建設系大学に対するフィールドワーク等への協力

- 対象学生：建設系大学の学生
- 実習時期：7月頃（第2四半期）
- 実習場所：県内の主要土木施設
- 実習内容：フィールドワークへの協力・支援
(土木設計に関する講義・現地見学会支援、建設コンサルタントの紹介など)
- 実施機関：建設コンサルタンツ協会北陸支部

SABO体験楽校



山腹工体験



ドローン操作体験

キャンプ砂防



コンクリート打設体験

フィールドワーク実施状況



講義&意見交換会



現場見学会

普通高校・中学・小学校（保護者や教員等含む）等への取り組み

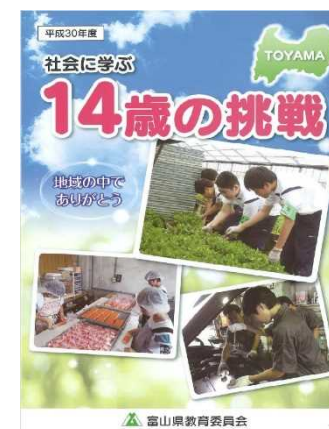
◆ ミル・シル・マナブとやまの土木・建築見学会（富山県）

- 県内大学と連携し、将来の土木技術者を目指す学生及び教員を対象とした見学会を年2回開催予定。

◆ 社会に学ぶ 14歳の挑戦（富山県教育委員会）

行動領域が広がり活動が活発になる中学2年生が、1週間、学校外で職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に参加することにより、規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、成長期の課題を乗り越えるたくましい力を身につけることを目指す。

- 時 期： 地域や学校の実情等を踏まえて設定
- 期 間： 1週間（実際の活動は土日を除く5日間）
- 対 象： 県内全公立中学校で実施



冊子：14歳の挑戦

◆ 立山カルデラ砂防体験学習会（富山県立山カルデラ砂防博物館）

立山カルデラを実際に訪れ、自然・歴史と砂防を自分の目で確かめる。

- 日 時： 7月～10月秋
- 参加資格： 小学3年生以上（小学生は保護者同伴）。
- 内 容： 立山カルデラまでの移動手段として、立山砂防事務所の砂防工事専用軌道のトロッコ列車を利用するコース。立山カルデラまでの移動にバスを利用するコース。
本宮砂防えん堤、護天涯の碑・噴泉、白岩砂防えん堤を巡る（文化遺産巡りコース）
白岩砂防えん堤を見学後、常願寺川下流の大転石などを巡る（常願寺川流域コース）



◆ 県政バス教室の実施（富山県）

子ども達を対象とした県政バス教室「富山どぼく発見！ツアー」の開催を予定。

普通高校・中学・小学校（保護者や教員等含む）等への取り組み

平成31年度の活動予定
(富山県部会)

◆ 土木事業を紹介する小冊子の作成”(富山県土木部)

各種の土木事業を紹介する小冊子「とやまの土木」を作成し、県内全ての学校へ配布。

◆ 市民現場見学会の実施（日本建設業連合会 北陸支部)

大学生や高専学生の夏季休暇期間（7月～9月）に現場見学会を予定。

◆ 建設コンサルタントをPRする冊子の配布（建設コンサルタンツ協会北陸支部)

建設コンサルタントの「仕事と魅力」の理解促進を図る「社会貢献活動」の一環として、北陸支部管内の小学校、中学校・高等学校に対しチラシ等を配布し、出前講座を予定。

建設コンサルタントを紹介するパンフレット「Ken Con PRIDE」（建コンで地域を創る人になろう）を平成30年5月に作成。本パンフレットにより更なるPRを行う。



パンフレット「Ken Con PRIDE」

◆ 「とやま建設フォトコンテスト」(県建設業協会)

広く一般の方々を対象に、建設業に関心、理解を深めてもらうための広報として写真を募集・表彰
募集期間：10月～翌1月

◆ 富山県立大学 ダ・ヴィンチ祭への出展

(建設コンサルタンツ協会北陸支部、県測量設計業協会、県建設業協会、富山県土木部)



ダヴィンチ祭 ペーパークラフト制作

◆ 富山大学 都市デザイン学部オープンキャンパスへの出展

(建設コンサルタンツ協会北陸支部、富山河川国道事務所)



オープンキャンパスパネル展示

その他の取り組み (富山県部会)

◆ 小学校での測量教室の開催 (県測量設計業協会)

国土地理院北陸地方測量部の協力を得て地図教室と測量教室を実施予定。実習では測量機器の説明・実習のほか、身近なものを利用して「測る」知恵を学んでもらう。



富山市長岡小学校での測量教室
「地図教室と測量体験学習」

◆ 現場見学会の実施 (県建設業協会、県地質調査業協会)

小学生や生徒の保護者を対象に現場見学会及び子供防災教室等を実施予定。



親子現場見学会の様子



就職直前技能向上研修



新入社員フォローアップ研修

◆ 講座、研修の充実 (県建設業協会)

① 就職直前技能向上研修

次代を担う若者に対しスムーズな入職と定着の促進を図るため、理解が深まるよう就職直前技能向上研修を企画・検討

② 新入社員フォローアップ研修

生活環境の変化と業務に追われる毎日から、悩みや不安を解消できず自分を見失いがちにならないよう新入社員フォローアップ研修を充実。

③ 建設業資格取得支援講座

土木施工管理技術検定試験や建設業経理士試験の取得に対し、試験直前の対策講座を実施。建設業への魅力や仕事に対する理解を深めてもらい、担い手確保を促進。

平成31年度の活動予定

【石川県部会】

平成31年 1月29日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会
(石川県部会)

平成31年度の活動予定(石川県部会)

- ◎ 30年度に行った「若手職員へのアンケート調査」の結果等も踏まえながら、「出前講座」「現場見学会」「インターシップ」「親子参加型のイベント」等の開催について、内容や頻度の充実を図る。
- ◎ ひとつひとつの工事・業務にも目を向けつつ、一層の生産性向上に取り組むとともに、現場環境の改善、安全対策の徹底を図る。

◆ 出前講座(学校説明会)の開催

[ポイント]

- ・ 若手、中堅、ベテランの職員により、自身の仕事の内容やキャリアパスをわかりやすく説明。
- ・ 特に若手職員から、実際に携わる業務の内容を具体的に紹介し、就職してからの仕事をイメージしてもらう。
- ・ グループ形式など、学生、生徒との意見交換・質疑の時間を十分に確保し、不明点の解消や不安の払拭に心がける。
- ・ できるだけ当該校の卒業生OBが参加し、学生に親身になって接する。
- ・ 保護者の参加についても学校と相談する。

◆ 現場見学会の開催

[ポイント]

- ・ 地域で展開する公共事業の必要性や効果についてわかりやすく説明するとともに、それを担う建設界の役割についてPRする。
- ・ 基礎的な従来技術の重要性と合わせ、3次元測量・設計やICT施工等の新技術の活用について紹介し、建設技術の深さ、面白みを伝える。
- ・ 現場で従事する若手職員から、実際に携わる業務の内容を具体的に紹介してもらう。

◆ インターンシップ

[ポイント]

- ・ インターンシップの受け入れ企業・事業所の拡大を図る。
- ・ インターンシップに関する情報を、企業から学生に直接説明を行う「いしかわインターシップフェス(県主催)」への参加を呼びかける。
- ・ 学生の受け入れにあたって、将来仕事に携わるイメージを認識できるよう、体験内容を充実させる。

◆ 普通高校や中学校への働きかけ、親子参加型のイベント等の開催

[ポイント]

- ・ 普通高校や中学校の生徒へもアプローチし、将来の選択肢のひとつとしてイメージしてもらう。
- ・ 親子参加型のイベント・現場見学会を開催し、建設界の仕事の魅力や必要性、将来性を理解してもらう。

◆ 働き方改革、離職対策の取り組み

[ポイント]

- ・ 業務改善や新技術活用など生産性向上の取り組みを推進し、週休二日の普及促進や残業縮減につなげる。
- ・ 3Kの解消、イメージを払拭する取り組みを推進する。
- ・ 若手職員との積極的なコミュニケーションを図りながら、建設界の仕事の魅力、やりがいを伝え、離職防止に努める。

○ キーワードは、「建設界の仕事の魅力・やりがい」の発信